



あきたふうど ミーティング

ニュース

2021.2.18

【トピックス】

- 1 1月19日に開催されたオンライン会議について
- 2 1月26日に開催されたあきたアグリヴィーナス活動報告会について
- 3 総合食品研究センター報告22号の発行について

1 令和2年度あきたふうどミーティング会議@Microsoft teams（1月19日）

（オンライン参加者10名、発表者3名、計13名）

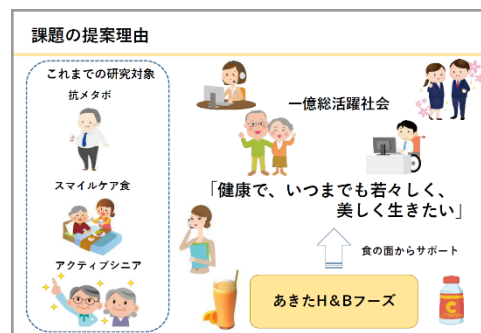
【内容】

- ・あきたふうどミーティングの概要や昨年度の活動
- ・東商事株式会社の加藤咲子さんの企業紹介とご自身の紹介（昨年7月からあきたふうどミーティングに参加）



- ・政策課題「美の国からのヘルス&ビューティフーズ発信」

当センターでは令和3年度から上記課題を3年間実施します。健康維持や美容に関する意識の高まりから、現在健康食品の需要が高まっていますが、秋田県内企業の保健機能食品はまだ少ない状況です。そこで、健康（Health）維持増進・回復目的や美容（Beauty）目的で飲食する食品を「ヘルス&ビューティフーズ」として、県産農林水産物や県産食品の有効性・機能性を明らかにし、保健機能食品の開発を支援していきます。機能性を分析・評価したり、ヒトでの効果確認を実施し、「ヘルス&ビューティフーズ」を開発していくという過程の中で、皆さんの商品や素材を使用して「ヘルス&ビューティフーズ」として新商品を開発したり、リニューアルしていきたいと考えています。（添付の資料もご覧ください。）



- ・研究内容や事業に関するアンケートの紹介

- ・参加者の自己紹介やコメント

2 あきたアグリヴィーナス報告会@にぎわい交流館 AU（1月26日）

【内容】

・「コロナに負けない！もっとヴィーナス力を UP☆」 山本洋子氏

SNS を活用した情報発信に関する講演でした。イベントやバイヤーに伝える機会がないコロナ禍の今、自ら発信していくことが重要であり、今までにない新しいアプローチで豊かで楽しい面を伝えたり、ブームに乗って今どき感を出したり、ロングセラー商品でもパッケージとキャッチコピーを時代に合わせて変えていくことなどを紹介していました。

・活動報告

あきたアグリヴィーナスネットワークの会員が取り組みを紹介しました。あきたふうどミーティングにも参加されているとしま農園・戸嶋めぐみさんが「としま農園の果樹を使用した今後の取り組み」と言うタイトルで、発芽玄米を使用した甘酒アイスなど、今後手掛ける商品について紹介されました。あきたふうどミーティングからも、児玉が事務局として当ネットワークを紹介し、東商事株式会社の加藤咲子さんが企業紹介を行いました。

・商品紹介

「あきた女性農業者“起業ビジネス塾”4期生」の商品の試食が行われました。あきたふうどミーティングにも参加されているあらとまい農場・米田久美子さんが「ガチャ発芽玄米」という商品を紹介されました。

・商品カタログ「秋田の“おいしい！”を作る、届ける。」

あきたアグリヴィーナスネットワーク会員の商品カタログが配布されました。デザインは「あきたふうどミーティング」のロゴマークデザインをされた Little A 鎌田あかねさんが担当されていました。



3 総合食品研究センター報告22号の発行

総合食品研究センター報告22号が発行されました。年度ごとに発行する研究報告書で、今年は原著論文としてキクイモやアカモクの研究内容のほか、解説として「あきたふうどミーティング」の取り組みを掲載しています。センターHPに公開していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.arif.pref.akita.jp>

